

材料研究委員会 第 34 回委員会

開催日: 3月16日. 出席者: 金沢委員長, ほか 10 名.
鋼の焼入性について検討および試験を行なった結果,
当委員会の活動を一度まとめることとなった.

1. 54年度をかけた活動をまとめ報告を作成する.
2. 上記の概要を「鉄と鋼」に投稿する.
3. 報告書内容予定
 - (1) 焼入性の回帰式提案
 - (2) Grossmann 式との比較
 - (3) 各委員の自由研究
 - (4) 各委員の実験データ
 - (5) 調査文献リスト

鉄鋼基礎共同研究会 高炉内反応部会

第 7 回部会 開催日 3月15, 16日. 出席者: 大森部会
長, ほか 31 名.

1. 場所 富士ハイッ
2. 議 題
 - (1) 高炉解体調査結果の報告並びに討議
 - (2) 各研究者の研究経過報告
 - (3) 公開講演会 (部会研究の中間報告)
 なお本件については, 本年 10 月の第 55 回製鉄
部会の前日に行う事に決った.
 - (4) その他

「鉄鋼の高温変形挙動」

鉄鋼基礎共同研究会・高温変形部会編

鉄鋼基礎共同研究会高温変形部会では「鉄鋼の高温変形挙動—進歩総説—」と題して去る 2月 14 日東京でシンポジウムを開催しました. このシンポジウムに使用したテキストの在庫がありますので, 日本鉄鋼協会で分譲を行ないません. 高温変形についてまとめた参考書となっていますので, ぜひお求め下さい.

1. 定 価 1 部 1,500 円 (送料 200 円)
2. 目 次

- | | | | |
|--------------------------|-----------|----------|----|
| (1) 高温変形機構 | 東大・宇宙研 | 堀内 | 良 |
| (2) 動的再結晶挙動 | 電通大 | 酒井 | 拓 |
| (3) 静的再結晶挙動からみた動的再結晶の問題点 | 金材技研 | 古林 | 英一 |
| (4) 鋼の制御圧延 | 川崎製鉄・技研 | 田中 | 智夫 |
| (5) 鋼の熱間変形抵抗 | 大阪大・工 | 加藤 | 健三 |
| (6) 熱間加工性と粒界偏析 | 東北大・工 | 須藤 | 一 |
| (7) 鋼の熱間変形能 | 新日本製鉄・基礎研 | 鈴木 洋夫・山口 | 重裕 |

3. 申込・問合先 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会庶務課 (TEL 03-279-6021)

「エレクトロスラグ再溶解法の物理化学と技術的諸問題」

鉄鋼基礎共同研究会・特殊精錬部会編

鉄鋼基礎共同研究会・特殊精錬部会は昭和 48 年に発足して以来, 5 カ年の間, 活発な研究活動を続けてまいりました. この度, 部会を終了するにあたり, 下記の内容の最終報告書を発刊致しましたので, 広く会員の皆様にご利用頂きますようお知らせ致します.

記

1. 内 容 第 1 章 エレクトロスラグ再溶解法の原理と概説
第 2 章 エレクトロスラグ再溶解法の物理化学とその特性
第 3 章 エレクトロスラグ再溶解法のスラグの物性
第 4 章 エレクトロスラグ再溶解法における凝固
第 5 章 エレクトロスラグ再溶解の現物的諸問題
本文 357 頁
2. 価 格 3,000 円 (送料 200 円)
3. 申込方法 書名, 部数, 送付先を明記のうえ, 代金を添えて現金書留にてお申し込み下さい.
4. 申 込 先 〒100 千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会庶務課 (TEL 279-6021)